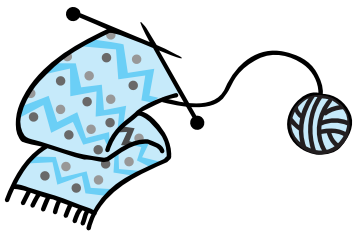
一般質問

12月5日から8日、11日の5日間にわたり、29名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをただしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。

※ 動画の再生には別途通信料がかかります。



誰もが暮らしやすい鶴川地域を

森本せいや（まちだ市民クラブ）

問 「三輪地域、野津田町、小野路町」の交通不便地区の公共交通サービスの充実を。

都市づくり部長 市外では貸し切りタクシーの運行をしている事例などもあり、そのようなものを参考にしながら、今後研究を重ねていきたい。

問 「小野路町、野津田町」の災害時における土砂崩れ対策の強化を求める。

道路部長 道路として通行の安全が確保できない状況であれば、それなりのことを考えていかなくてはいけないのかなと思います。

問 「小野路町」の北部丘陵地域における、地権者や地域の方に資するさらなる活性化策の早期策定を求める。

北部丘陵担当部長 不整形や狭小地、地域の意見を伺いながら地域活性化につながるよう、このような土地も有効活用していきたい。

基金活用し保険料の負担軽減を

佐々木智子（日本共産党）

問 第7期介護保険事業計画で地域密着型施設整備と、年金で入れる多床室の特養ホームの増床を求めるがどうか。

いきいき生活部長 地域密着型サービスについては、地域の実情に応じて充実を図ります。増床については、老朽化に伴い改築する既存施設のみを対象とし、相談に応じることとします。

問 次期介護保険料は準備基金を活用して、被保険者の負担軽減をすべきだがどうか

いきいき生活部長 介護給付費準備基金の活用も含め、18年3月議会にて示します。

問 大規模学童保育クラブの解消と、育成環境の改善を求めるがどうか。

子ども生活部長 育成スペースの1人当たりの面積をしっかり確保し、トイレや手洗い場も十分確保できるよう整備を進めています。

忠生市民センターに音楽室を！

松岡みゆき（自由民主党）

問 忠生市民センターには音楽室と反響板がない。市民の音楽活動の為に設置すべき。

市民部長 多様な活動に利用できる多目的室等を用意しており、反響板は広さの関係上設置は難しいです。多目的室の利用の趣旨を損なわないよう、移動可能な電子ピアノの設置を検討しています。

問 町田産農産物の地産地消の為の施策は何か。自家消費農家へも支援をすべきだが。

経済観光部長 直売所などの情報を地図情報とリンクできるよう検討しています。また、補助金の紹介として機械購入などの案内を行います。

問 市職員のワーク・ライフ・バランスの実現の為に時差勤務が導入されたが内容は。

髙橋副市長 働きやすい職場環境の構築と市民サービス向上を目的に導入し、4つの時間帯を追加しました。

安心して子育てができる環境を

新井克尚（保守連合）

問 中学校給食の喫食率を上げるために予約システムを構築すべきと考えるが。

学校教育部長 アンケートの分析結果では、申し込み方法について保護者の満足度が低いことがわかりました。予約システムを導入した際の効果などについて、他自治体の情報を収集し研究します。

問 小規模商業施設のおむつ交換場所設置やおむつが取れた子のトイレ整備に対して補助が出せないか。

子ども生活部長 改修補助については制度がないため、補助金の交付は難しいと考えています。設置してもらえるよう依頼していきたい。

問 町田一中の校庭が使えなくなる期間について、シバヒロを活用できないか。

学校教育部長 予約の入っていない時間帯に部活動で使用することを考えています。

振り込め詐欺撲滅に向けて

山下てつや（公明党）

問 振り込め詐欺撲滅に向け、電話が集中している地域へ、防災行政無線による呼びかけを行ってはどうか。

防災安全部長 地域限定の放送など、防災行政無線の運用の変更については慎重に判断をしていきたい。

問 北部丘陵におけるアウトドアアクティビティの可能性について市の認識は。

市長 アウトドアアクティビティを楽しみたいといった方々が北部丘陵で活動を展開していく、そういう意味で可能性は十分にあるというふうに思っております。

問 文化芸術を生かした国際交流について、さらなる支援をすべき。

文化スポーツ振興部長 庁内関係部署と文化芸術関係の市民や団体など、さまざまな組織間の連携を強化することが大切と認識しています。

市内在住外国人支援の拡充を

わたべ真実（まちだ市民クラブ）

問 アンケートから見えてきた課題は。町田市在住の外国人支援に係る庁内連絡会の構成メンバーと国際交流センターのかかわりは。

文化スポーツ振興部長 課題は、国際交流センターの認知度が低いこと、市役所からのお知らせや申請手続の書類などがわかりにくいことなどがありました。庁内連絡会は、庁内の組織として設立させ、外国人支援について必要な助言をしてもらうということで、国際交流センターをアドバイザーとしました。

問 町田市の公共施設の雨水の活用状況と取り組みは。

営繕担当部長 大きな施設の新築や増改築を行うときに、トイレの洗浄水用に雨水をろ過、殺菌後、利用しています。洗浄水以外としては、市庁舎壁面や屋上の緑地への自動かん水に利用しています。

外国人への支援を行っている
町田国際交流センター

町田に キャンプ地招致を！

佐藤和彦（まちだ市民クラブ）

問 東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致に向けての取り組み内容は。

山田副市長 国際大会開催や合宿で培いました日本パラバドミントン連盟や海外のチームなどとのつながりを生かし、招致を実現していきます。

問 学校と地域社会が一体となった教育を実現するために、今後強化していくことは。

学校教育部長 地域学校協働本部を各校へ整備し仕組みを一本化することを検討し、学校を核として強固な地域コミュニティーを形成しともに育つことが大切と考えます。

問 認知症高齢者を支えていくために、今後強化していくことは。

いきいき生活部長 認知症の人や家族の居場所づくり、徘回高齢者介護サービス事業等を重点的に進めていきます。

忠生地域の価値あるまちの創造

藤田　学（自由民主党）

問 第一種・第二種低層住居専用地域においてもコンビニエンスストアの建築基準法の許可を求める。

都市整備担当部長 町田市建築審査会で検討いただき、18年2月に許可基準を策定する予定で、その後、事業者の方々に周知を行った上、18年4月1日より運用を開始したいと考えているところです。

問 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するための支援を求める。

都市づくり部長 住宅部門だけでなく、庁内関係部署で情報を共有するとともに、民間団体と連携した支援が必要であると考えています。

問 地域と「町田リサイクル文化センター周辺地域の整備推進に関する覚書」締結を。

市長 18年1月に覚書の調印式ができるように作業を進めております。

障がいのある方たちの親亡き後

いわせ和子（自由民主党）

問 市の今後の取り組みは。

地域福祉部長 町田市障がい福祉事業計画（第4期計画）に基づき、グループホームの必要量の見込みや提供体制の目標を定め、取り組んでいます。第5期計画策定過程の中で公聴会を実施して、市民ニーズの把握に努めます。

問 JK（女子高生）ビジネスの防止キャンペーンの実施を。

防災安全部長 町田駅周辺官民協働パトロールをともに実施している町田警察署や関係団体と協議をしていきたい。

問 2017年3月の法改正で準中型免許が新設され、最近普通免許を取得者は消防車両の運転ができない。運転免許取得の優遇措置を。

防災安全部長 消防団長と情報共有をしながら都を通じて国へ働きかけをし、国や都の動向を注視していきたい。